

産業建設委員会記録

令和6年7月22日(月)
10時01分～11時23分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

村本委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

【事務局】大下書記

【議題】

- 1 行政視察について
- 2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 01 分 開議]

○川上委員長

ただいま出席委員は6名で定足数に達しているのですが、ただちに委員会を開催する。本日村木委員から欠席届が提出されている。早速議題に入る。

1 行政視察について

○川上委員長

現在タブレット内に視察候補のファイルが二つ入れている。一つ目は佐々木委員から、二つ目は牛尾委員からの提案である。内容は皆すでに確認されていると思う。このほかにも候補があれば申し出ていただきたい。ほかになればこの中から絞っていかうと思うがよろしいか。

(「はい」という声あり)

まず日程だが、8月も9月も委員会があるためなかなか難しいかと思う。10月に検討したいがよろしいか。

(「はい」という声あり)

では10月に向けて候補地を絞り内容を含め検討していきたい。これまでもいろいろと行っているが、牛尾委員からは漁業養殖、小規模農業、寂れた商店街という形で選んでもらった。それから、小規模高齢化集落への支援、農地の維持管理、まちづくりと商店街再生。当委員会のこれまでの活動の中に、漁業もあるし高齢化集落、まちづくりもあった。どれを主眼としてやっていくか意見をお願いしたい。

牛尾委員に聞いても良いか。これまでも漁業は栽培も含めて検討してきたが、これまでの経緯をお願いしたいのだが。

○牛尾委員

今回の選択のねらいは、今瀬戸ヶ島で市がマルハニチロと協定書を交わしており、先般も西田議員が市長といろいろやり取りしたが、核心部分がなかなか表に出てこない。入善町がマルハニチロと三菱商事のサーモン養殖の一番最新なのである。ここへ行けば瀬戸ヶ島がなぜ動かないのかなどが読み取れる気がした。入善町は富山市を中心にして約40分の距離なので行ってみたい。

射水市も富山市を中心にして40分くらいの距離だが、近畿大学水産研究所があり、実際にサクラマスを養殖している。かつて近畿大学の博士に見てもらったことがあるので、ここも行ってみても良い。それから氷見市はエビの養殖が全国的に人気が出ている。岡山理科大学で魔法の水を作る先生が最近また脚光を浴びていた。海の魚も川の魚も魔法の水で生きていけるといえるのだが、かつて浜田市に来てもらったときに、旭の20度前後の温泉水がウナギやエビの養殖には一番適していると言われていたので、これも面白いと思った。

あとはあまり移動距離がないほうが良いと思って選んだ。この中で面白いと思っ

たのは富山市の山田鎌倉。大学サークルの農業ボランティア国際交流というのは、大学生のゼミか何かで小規模農家と一緒に特産品づくりをやっている。

魚津市の1番は、小さい二つの集落が共同活動をやるというもの。

最後、まちづくりと商店街再生。富山市のコンパクトシティは日本で最初に手を挙げてやられたところだが、現在の進捗状況はどうなのかと思った。高岡というところは新しく新幹線が通って新高岡という駅ができ、元の駅前にあったメイン商店街が寂れてしまったため、その市長が本気で商店街再生に取り掛かっている。これも見たら面白いと思った。富山を中心としてあまり移動しない範囲で候補地を選んだ。

○川上委員長

佐々木委員にも内容について少し説明いただきたい。

○佐々木委員

これは皆新聞記事を控えていたものを掲載したので、詳しくは中に書いてあるとおりである。最初の、介護職員が同行して高齢者の買い物支援をしながら、それがリハビリになるという事例は福祉の観点なので、当委員会にはどうなのかという気が少ししている。

2番目の移動スーパーについては、非常に多くの箇所を回ってフォローしているので参考になるかと思った。

3番目の群馬県前橋市の郵便局が地域支援に乗る制度が普及しているとのことで、これはいろいろなやり方があるようだが、一つの参考にと考えた。

4番目は公営住宅に結構な空きがあるので、それを使った取組。

最後は田植えをドローンで円滑かつ短時間にやるという取組である。

○川上委員長

牛尾委員と佐々木委員に提案の説明を受けた。ほかの委員から聞きたいことがあるか。牛尾委員が言われたのは、これまでの取組の一環として見ていきたい、同時に当委員会でも行っている商店街についても。

佐々木委員からは、移動スーパー、公営住宅の空き部屋活用、ドローン活用。当市もドローンでやっているが、まだ田植えの事例はない。公営住宅についても空き部屋がなかなかないのが実情だったかと思う。黒川は70%くらいしか入ってなかったか。そういうことを考えていくため視察してみるということかと思う。

皆はどちらか。浜田市として取り組むべきもの、取り組んでいるもので発展のためには何が良いか。私の思いとしては、これまでも漁業については視察に行き確認したが、近畿大学が進めていることに対しては浜田市もこれまでいろいろやっているの、見ておきたいと考える。こうしてみると牛尾委員が提案された富山県については、ちょうど浜田が取り組んでいる漁業に関する、それから集落支援のこと、まちづくりという三つの課題を総括的に見られるのでは。またはどれか特化して見ることができるのではと考えるがいかがだろうか。

○大谷委員

個人的には富山市のコンパクトシティの状況が見たいとは思った。こういった都

市整備をすることによる波及効果があるので、そうしたことを見据えて見ておきたい。方向については、地域的にまとまっているので富山県でいくらか挙げてもらった中から選ぶ方向のほうが、視察も組みやすいと考える。

○川上委員長

大谷委員からは、コンパクトシティも含めてその周辺を確認していきたい。同時に富山市周辺で視察できるので、これも良いのではという話が出た。ほかの委員はいかがか。

○佐々木委員

牛尾委員が挙げられた中でいくつか興味があるものがあった。富山市の山田鎌倉というのは聞いたことないが、大学生が農業の手伝いをする取組があるのか。

○牛尾委員

ネットで探すといろいろな場面が出てきて、すごく魅力がある。

○佐々木委員

農業の人手不足が大きな問題になっているので、これは参考になる気がする。また、高岡市長の駅前再生は浜田の駅前再生の参考になると感じた。特にこの二つは興味がある。

○田畑副委員長

養殖についてはマルハニチロと三菱商事と近畿大学水産研究所、市長が今一生懸命マルハニチロと協議されているが話が一向に前へ進まないのが現状だろうと思っている。当委員会としてここを視察してどうだろうかという思いはある。

二つ目の2集落が連携した共同活動については、浜田市においても参考になると感じた。そういったことで富山市近辺でも良いのでは。

○小川委員

特に養殖関係は、話はいろいろ聞くが実際に視察に行ったことが一度もないため、どれが一番適当かは分からないが、一度現地を視察させてもらえたらと思った。

2番目の農業の部分を含めてだが、富山市を中心としてこのように集まっている中で、特に小規模農業は今の日本の食糧需給率の関係からそこがネックになっている。共同菜園づくりや大学サークルとの連携などは非常に勉強になるだろう。

最後の商店街再生についても、何らかのヒントが伺えるのではと期待している。こういう方向で進められたら良いと感じた。

○川上委員長

およそ皆の意見は富山方向へ、ある程度目的を絞って見に行きたいということだと思う。佐々木委員は2番目の山田鎌倉の大学サークル、まちづくりと商店街について。どうだろう、どれか絞るか、それとも三つの目的を包括できるか。あれもこれもというのは難しいかと思うが。

○牛尾委員

2泊3日だと3か所行けると思うが、1泊2日だと4か所は難しいかと思う。2泊3日なら富山を起点にして動けばとりあえず4か所くらいは歩けるのでは。

マルハニチロは、もし行くことになれば現場が見たいので紹介状を書いてくれと市長に一応言っている。瀬戸ヶ島がなかなか動かないと僕らは言うが、市長もなかなか歯切れが悪い。それは多分、言えないことがあるのだろう。行って現状を聞くと、その歯切れ悪さの原因が見えてくると考えている。

○川上委員長

やはり1泊2日より2泊3日にして、ある程度広く視察していきたい。どうだろう、2泊3日でやろうか。

○牛尾委員

2泊3日行けるのだろうか。

○大下書記

大丈夫である。

○川上委員長

2泊3日で良いか。

(「はい」という声あり)

では2泊3日で準備させていただく。目的地についてはある程度絞っておきたいのだが。マルハニチロについては市長からも紹介状をいただいて見ておきたい。近畿大学は、目新しさが見えない気がするがどうだろうか。

○牛尾委員

養殖で1か所行くとすればマルハニチロへ行けば十分かと思う。

○川上委員長

そうだと思う。養殖についてはマルハニチロを視察させてもらう。二つ目の小規模・高齢化集落については富山市山田鎌倉の大学サークル農業ボランティアと特産品づくりにさせてもらおうと思うが、それで良いか。

(「はい」という声あり)

最後のまちづくりと商店街再生については、富山市のコンパクトシティの進捗状況。これまで進めてきたことが今どのように進んでいるかを拝見する。それから、浜田市も今から駅前商店街を再度見直すので、まちづくりについては2か所くらい拝見したら良いかと思う。

○牛尾委員

富山市に泊まれば入善町まで1時間、高岡市は富山市から50分くらいの場所なので、2泊3日なら行けるのでは。

○川上委員長

ではそういうことで。目的地は入善町のマルハニチロ、富山市山田鎌倉の大学サークルとコンパクトシティ、高岡市の商店街という形で、大きな三つの目標を持って今回視察したい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

これについて、また事務局に調整してもらって10月に2泊3日という形でやらせていただく。

○大下書記

今の時点で10月の都合の悪い日が分かるなら教えていただきたい。

○牛尾委員

10月10日が広域行政組合議会。

○佐々木委員

6、7日がだめ。

○川上委員長

私は8日、16日、19日がだめ。

○牛尾委員

では22、23、24日ではどうか。

○川上委員長

良いと思う。皆はどうだろうか。はまだ市民一日議会が終わった後か。事務局もよろしいか。

○大下書記

はい、22、23、24日で。

○川上委員長

22、23、24日で調整していくことにする。皆よろしいか。

(「はい」という声あり)

これで視察については決まったので、ここで暫時休憩とする。

[10 時 25 分 休憩]

[11 時 23 分 再開]

2 その他

○川上委員長

委員会を再開する。最後のその他だが、皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で産業建設委員会を終了する。

[11 時 23 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川上 幾雄